

長野県150周年記念企画展

# 信州と五島慶太

長野県に残る 郷土の先人の足跡 —

令和8年 2026 3.20 祝 ~ 令和8年 2026 9.27 日

信州・青木村

五島慶太未来創造館

〒386-1601 長野県小県郡青木村田沢3270-3

TEL・FAX 0268-49-0303

主催：青木村・五島慶太未来創造館・青木村教育委員会

【開館時間】9時～17時(最終入館16時30分)

【休館日】月曜日・祝日の翌日・年末年始

(詳細はホームページをご覧ください)

【入館料】無料

画像提供：東急㈱・上田電鉄㈱・(一社)白馬村観光局



五島慶太未来創造館  
ホームページ

# 信州と五島慶太

長野県に残る  
郷土の先人の足跡

東急グループの礎を築いた実業家、五島慶太（旧姓：小林）は、明治15年（1882）年に長野県小県郡殿戸村（現青木村殿戸）の農家の次男として生まれました。幼い頃から勉強が好きで、苦しい家計の中でも両親に頼みこみ、上田中学校（現上田高校）、松本中学校（現松本深志高校）に通い、勉学に励みました。

卒業後は故郷の青木小学校で代用教員をしながら学費を工面し、東京高等師範学校に入学、東京に出て学問に勤しみまします。この上京経験が土台となり、信州の後輩たちが安心して学べる場所を東京につくろうと、同郷出身者と力をあわせ、寄宿舎千曲寮を設立しました。

23歳で教師となりますが、学びへの情熱から25歳のときに東京帝国大学に入学。卒業後は鉄道院の役人として、上田温泉電軌（上田電鉄（株）別所線の前身）、飯山鉄道（JR飯山線の前身）の敷設を支援します。38歳で鉄道業界に転身、鉄道を軸にしたまちづくりを東京で展開し実業家として大成しますが、ふるさとを忘れたことはありませんでした。

戦後は観光事業に力を注ぎ、白馬や軽井沢など各地でリゾート開発に着手します。教育事業にも尽力し、信州電波専門学校（現東京都市大学塩尻高等学校）の経営を引き受けるなど、晩年まで信州と関わりを持ち続けました。

慶太の没後も、その思いは形を変えながらも受け継がれ、県内各地でいまでも発展を続けています。

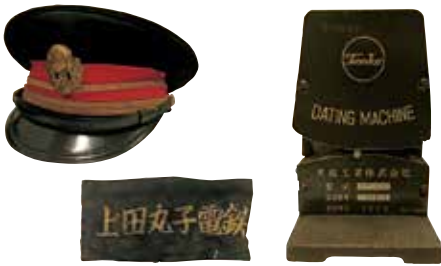
長野県150周年の節目を迎える本年、ふるさと信州における五島慶太の足跡を辿るとともに、現在まで残る知られざるつながりを紹介します。



飯山鉄道スキー案内(明治33年)



小島慶太 松本中学校卒業證書(明治33年)



上田丸子電鉄 制帽・腕章・硬券切符ダッチングマシン(日付印字器)  
(上田電鉄(株)所蔵)

**体験展示 走る! 信州の鉄道**

慶太ゆかりの地である長野県に、おもちゃの鉄道を走らせて遊ぼう!

**5月1日(金)~9月27日(日)**

**五島慶太クイズ**

展示をめぐってクイズに挑戦して、オリジナルシールをもらおう!

草軽電鉄110周年記念模型 アーサー・コッペル製1号機・大日本軌道株製6号機・デキ12号機(草軽交通株寄贈)

小林慶太 郷里の友の家族へあてた書簡(明治35~38年頃)

**4月~9月** 小学校高学年~中高生向け  
展示解説

**五島慶太ってどんな人?**

毎月第2・4土曜日  
10時~11時

6~18歳の参加者の方には、プレゼントがあります!!

信州・青木村  
**五島慶太未来創造館**

〒386-1601 長野県小県郡青木村田沢3270-3  
TEL・FAX 0268-49-0303

【開館時間】 9時~17時(最終入館16時30分)  
【休館日】 月曜日・祝日の翌日・年末年始  
(詳細はホームページをご覧ください)  
【入館料】 無料

主催: 青木村・五島慶太未来創造館・青木村教育委員会



五島慶太未来創造館  
ホームページ